

北海道北見市における基本計画の概要

令和6年4月1日同意

計画のポイント

北見市は、農業産出額（畜産除く）が道内自治体1位の263億円（令和3年）であるなど、農林水産業が基盤となっている。また、農作物等を活用した食料品製造業は、市の全製造品出荷額の4割弱を占める（令和3年）など重要な産業となっている。このほか、北見工業大学が立地しており、エンジニアなど地域で活躍する人材の輩出に寄与しておりIT関連産業の集積も多いという特徴がある。また、北見市工業技術センターなど工業系の試験研究機関が多く所在し、農林水産分野、木材関連産業分野、情報通信・機械分野等及びそれらと関連の深いものづくり関連産業の稼ぐ力を高め、付加価値を向上させる取り組みを進めている。このほか、温根湯温泉や国内におけるカーリング競技の先進地として、カーリング施設が重要な観光資源としての活用が期待が寄せられている。

こうした地域特性を生かした事業を推進し、企業の稼ぐ力を高めることで付加価値を向上させ、収益の増加・雇用の増加といった経済の好循環を創出することを目指す。

促進区域

北海道北見市

経済的効果の目標

- ・1件あたり平均60百万円の付加価値額を創出する地域経済牽引事業を8件創出。
- ・これらの地域経済牽引事業が促進区域で1.2倍の波及効果を与え、促進区域で**約576百万円の付加価値額を創出**することを目指す。

地域経済牽引事業の承認要件

【要件1：地域の特性を活用すること（①～⑥のいずれか）】

- ①【地域の特性】北見市の生産量全国一位のタマネギ、白花豆等の特産物【活用戦略】成長ものづくり
- ②【地域の特性】北見市の北見工業大学等のIT人材【活用戦略】デジタル
- ③【地域の特性】北見市の高日照率及び豊富な森林資源である自然環境【活用戦略】環境・エネルギー
- ④【地域の特性】北見市の温根湯温泉やカーリング等の観光資源【活用戦略】観光・スポーツ
- ⑤【地域の特性】北見市の北見工業技術センター等の公設試験研究機関の技術【活用戦略】成長ものづくり
- ⑥【地域の特性】北見市の木材加工企業等の集積【活用戦略】成長ものづくり

【要件2：高い付加価値を創出すること】

- ・付加価値増加分：4,611万円超

【要件3：いずれかの経済的効果が見込まれること】

- ①売上高（事業開始年度比）：10.2%増加

制度・事業環境の整備

- ・投資・雇用に対する助成、固定資産税等の減免措置　・北海道産業振興条例に基づく助成措置
- ・情報処理の促進のための環境の整備（公共データの民間公開に関する事項等）
- ・事業者からの事業環境整備の提案への対応　・スタートアップへの支援
- ・地域における重要産業のサプライチェーンの構築・強靱化の支援
- ・人材確保に向けた支援（人材育成・確保支援）　・GXの促進支援　・DXの促進支援
- ・賃上げ促進支援　・公設試験研究機関による技術・製品開発支援

《促進区域図》



地域経済牽引支援機関

- ・(公財)オホーツク財団
- ・(一社)北見工業技術センター運営協会
- ・北見ビジネス総合サポートセンター
- ・(独)中小企業基盤整備機構北海道本部北見オフィス
- ・(一社)オホーツク森林産業振興協会
- ・国立大学法人北海道国立大学機構北見工業大学
- ・(地独)北海道立総合研究機構・農業研究本部

計画期間

計画同意の日から令和10年度末日まで